

保険福祉・子育て支援特集

子供や孫にツケをまわさない!

これまで行政は、市民から預かった税金で多くの市民サービスを実現してきました。これまでは税収が右肩上がり、行政経営にも余裕がありました。しかし近年、少子高齢化が進み、現役世代が今のサービスを支えられなくなってきました。これを、債権という借金でつじつまを合わせ何とか現状を維持してきました。ただこれは、次の世代(子供や孫)にツケを回しているだけなのです。



ですから、現役世代はもちろん、将来世代に対してもこれ以上ツケ(増税)を残すわけにはいきません。

市民の皆様の生活を脅かす増税をなくすためにも行政改革を積極的に推進し、さらには成長戦略も積極的に推進し税収を確保し、未来に希望の持てる新しい自治体経営を目指します。

子どもにツケをまわさない!

平成二十七年三月吉日
千葉県議会議員
松坂よし のり

皆様、ご挨拶
議会の中で、任期4年間の代表を担う間は、議員としての責務を全うし、市民の期待に応えるべく、最善の努力を怠りません。また、議員としての責務を全うし、市民の期待に応えるべく、最善の努力を怠りません。また、議員としての責務を全うし、市民の期待に応えるべく、最善の努力を怠りません。

松坂吉則の決意!
任期中の確実な実績!
これからの美浜区のため、走り続けます。

2期目の任期中、松坂よし のりが、議会での質問や執行部へ要望し充実した取り組みと実施されることになった成果の一部を報告します。

松坂よし のり @ 4年間の通信簿!

平成23年～平成26年 こども未来局発

1. 私立幼稚園就園奨励費の補助

幼児教育の振興と保護者の経済的負担の軽減を図るため、市内在住の園児の入園料・保育料を減免する私立幼稚園に対し、保護者の所得や扶養する子どもの人数に応じて補助金を交付しています。松坂よし のりは、入園料・保育料の段階的な無償化を要望し、平成23年度～平成24年度は所得階層階級を中心に補助単価を増額し、平成26年度は生活保護世帯の無償化、多子世帯の負担軽減を実現しました。今後は、27年4月施行の子ども・子育て支援新制度において、補助単価の増額を図ることを目指します。

年度	023年度	024年度	026年度
事業費	1,450百万円	2,089百万円	609百万円
児童1人あたり	87千円	138千円	51千円

2. 待機児童解消対策

松坂よし のりは、認可保育所の新設や既存施設を有効活用した保育の受け皿確保のほか、保護者の状況に適した保育サービスを案内する子育て支援コンシェルジュによる入所あっせんを組み合わせたなどとして、待機児童解消を図ることを要望し、子育て支援コンシェルジュの配置を実現しました。平成25年10月 中央区・稲毛区にモデル的に配置・平成26年10月 全区に配置

年度	023年度	024年度	026年度
認可保育所数	109か所	131か所	22か所
利用児童数	11,456人	13,274人	1,818人
待機児童数	350人	0人	△350人

※平成26年4月には、待機児童ゼロを達成している。

3. 子どもルーム整備・運営(放課後児童健全育成)

就労等により昼間家庭に保護者のいない、原則として小学校1年生から3年生の児童を対象に、授業が終わった後の遊び及び生活の場を提供してきたが、平成27年4月の子ども・子育て支援新制度の施行以降は高学年児童も対象としていくことを要望し、利用需要への対応や待機児童の解消を図るため、子どもルーム設置を拡大することを実現しました。今後は保護者のニーズに対応し、待機児童の解消に努めながら、高学年の受け入れを、小学4年生から順次拡大していく予定です。

年度	023年度	024年度	026年度
設置小学校区	105小学校区	108小学校区	3小学校区
子どもルーム数	118か所	123か所	5か所
利用児童数	6,413人	7,063人	650人
待機児童数	79人	175人	96人

4. 私立幼稚園長時間預かり保育補助

保育需要の量的及び質的拡大に対応するとともに、保護者の子育てを支援するため、幼稚園が実施する長時間預かり保育に助成を行っています。松坂よし のりは、利用需要への対応や待機児童の解消を図るため、実施園を拡大することを要望し実現しました。

年度	023年度	024年度	026年度
実施園	10園	25園	15園

5. 子ども医療費助成

子どもの健康保持の推進や子育て世帯の経済的負担の軽減のため、保健診療の範囲内で、子どもの医療費の一部を助成しています。松坂よし のりは保健診療の範囲内で、子どもの医療費の一部を助成することを要望し対象年齢の拡大を実現しました。今後は、県内の多くの市町村が、県の基準に上乗せして対象年齢の拡大を図っており、これら県内自治体と連携し、県の補助対象拡大に向け、千葉県市長会を通じて、要望してまいります。また、本制度は、地方が独自の条例により実施しているが、子育て支援の重要な役割を担っており、地方ごとに格差が生じることは望ましくないため、国において、全国一律の制度を創設すべきであることを要望してまいります。

年度	023年度	024年度
通院	小学校就学前～小3	小3～小3
入院	03	03
保護者負担額	通院・入院200円 →通院・入院300円	03 →03 2000円 03 2000円 03 2000円